

釜石の歴史

よもやま話

17

歴史のさんぽみち編(7)

問い合わせ
市文化振興課 ☎27-5714

釜石に眠る遺跡

城館編

城館跡

中世から近世には、城館と呼ばれる有力者の住居や戦用の防御施設を備えた遺跡があります。

釜石には現在、城館跡の可能性のある遺跡が30カ所あります。ただし、居住した人が判明している居館としての城館跡は半数に満たず、多くは伝承で伝えられたものや、城・館などが付く地名などに由来しています。

城館跡に残る遺構

こうした場所を現地踏査していくと、空堀（山尾根や平坦部を溝状に堀り、進入を防ぐ防御施設）や平場（城館内の区画）といった遺構が残っていることがあります。この遺構の数や組み合わせから、城館跡が物見の役割を担った小規模なもの、居館、戦闘用の城などと推察されます。

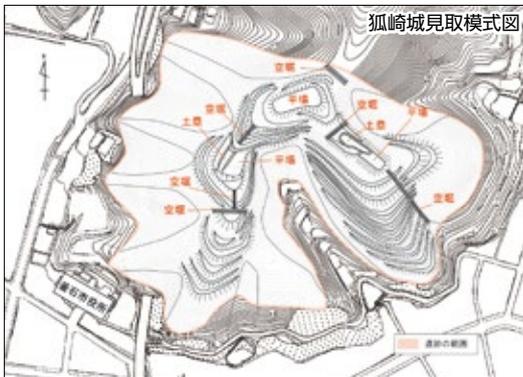
市内の城館跡

市内各所にある城館跡の一部を紹介します。

狐崎城 現在の市役所の裏山にある城館跡です。空堀・平場・帯曲輪など多くの遺



狐崎城
登り口石碑



狐崎城見取模式図

構が残っています。

柏館 定内町1丁目、国沢踏切の北側に位置しています。八幡館と矢合わせの伝承などが残り『阿曾沼家乗』には、狐崎城、八幡館、柏館の三城が記載されています。

安倍館 鶴住居と大槌町の境にある御廟坂の西側山中に位置しています。源義家から逃れた安倍氏の残党が逃れてきたとの伝承が残っています。

千葉館 唐丹町仏ヶ崎の山尾根上に位置しています。別名で唐丹城、多賀城と呼ばれ、現地には平場や帯曲輪などが残っています。葛西家臣千葉長門が居住したと伝わっています。

市民農園の使用者を募集します

市は、市民の皆さんが自然や農業に触れながら、健康の維持と増進に活用する場として市民農園を開設しました。区画に若干の空きがあるため、第2期使用者募集を次の日程で行います。希望者は次の内容を確認の上、お申し込みください。

申込期間
(第2期) **5月16日(月)～31日(火)**

- ◆ **開設場所** 甲子町第7地割内
- ◆ **面積(区画)** 1区画あたり9㎡(3m×3m)、全55区画
※1使用者3区画まで申し込み可能
- ◆ **募集数** 22区画
- ◆ **対象** 市内に住所を有する個人または団体
- ◆ **応募方法** 使用申請書を市水産農林課へ提出してください。
- ◆ **使用料金** 年額2,000円/1区画

申請書は、市水産農林課に備え付ける他、市のホームページからダウンロードできます。

※ 使用者の決定は先着順(申請書受付順)とします ※ 市民農園の使用には、他に使用条件、注意事項があります



市の
ホームページ

申し込み・問い合わせ 市水産農林課 農業振興係 (市役所第3庁舎2階) ☎27-8426



釜石市LINE公式アカウント

